

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公開番号】特開 2015-83565 (P2015-83565A)

【公開日】平成 27 年 4 月 30 日 (2015.4.30)

【年通号数】公開・登録公報 2015-029

【出願番号】特願 2014-190339 (P2014-190339)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/455 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/455

A 6 1 K 47/34

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/06

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 3/10

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 3 日 (2015.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

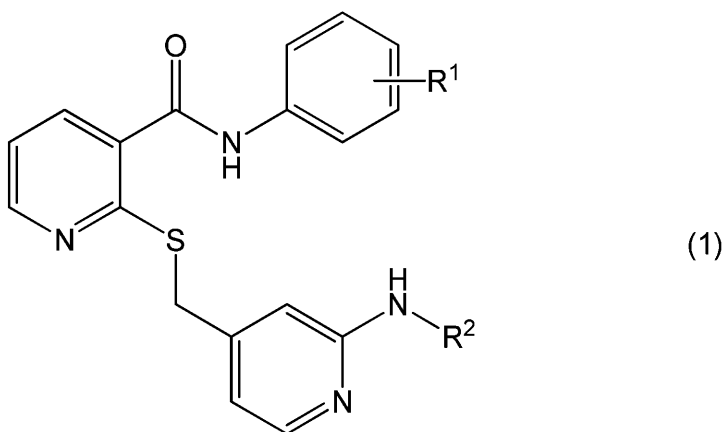
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (1) :

【化 3】



[式中、

R^1 は水素原子、ハロゲン原子、ヒドロキシル基、 C_{1-6} アルキル基、1 個若しくは複数個のハロゲン原子で置換された C_{1-6} アルキル基、 C_{1-6} アルコキシ基又は 1 個若しくは複数個のハロゲン原子で置換された C_{1-6} アルコキシ基を示し、；

R^2 は水素原子、 C_{1-6} アルキル基、 C_{1-6} アルキルカルボニル基又は 1 個若しくは複数個のヒドロキシル基で置換された C_{1-6} アルキルカルボニル基を示す]

で表される化合物又はその塩及びポリエチレングリコールを含有する、眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 2】

式 (1) において、

R^1 が C_{1-6} アルコキシ基又は 1 個若しくは複数個のハロゲン原子で置換された C_{1-6} アルコキシ基を示し、；

R^2 が C_{1-6} アルキルカルボニル基又は 1 個若しくは複数個のヒドロキシル基で置換された C_{1-6} アルキルカルボニル基を示す、請求項 1 記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 3】

式 (1) において、

R^1 が 1 個若しくは複数個のハロゲン原子で置換された C_{1-6} アルコキシ基を示し、；

R^2 が 1 個若しくは複数個のヒドロキシル基で置換された C_{1-6} アルキルカルボニル基を示す、請求項 1 記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 4】

式 (1) で表される化合物が、2 - [[[2 - [(ヒドロキシアセチル) アミノ] - 4 - ピリジニル] メチル] チオ] - N - [4 - (トリフルオロメトキシ) フェニル] - 3 - ピリジンカルボキサミドである、請求項 1 記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 5】

ポリエチレングリコールの平均分子量が 100 から 2000 の範囲内である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 6】

ポリエチレングリコールの平均分子量が 200 から 600 の範囲内である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 7】

ポリエチレングリコールが PEG 400 である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 8】

前記医薬組成物中、ポリエチレングリコールの含有量が、70 ~ 99.99% (w/w) である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 9】

式 (1) で表される化合物又はその塩の含有量が、0.01 ~ 20% (w/v) である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 10】

眼疾患が加齢性黄斑変性、糖尿病網膜症、未熟児網膜症、網膜静脈閉塞症、網膜動脈閉塞症、ポリープ状脈絡膜血管症、網膜血管腫状増殖、近視性脈絡膜新生血管、糖尿病黄斑浮腫、眼腫瘍、放射線網膜症 (radiation retinopathy)、虹彩ルベオーシス、血管新生緑内障又は増殖性硝子体網膜症 (PVR) である、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 11】

硝子体内投与用である、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の 眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 1 2】

1 回につき、1 ~ 1 0 0 μ L 投与される、請求項 1 1 記載の眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 1 3】

1 週間に 1 回 ~ 3 年に 1 回の間隔で投与される、請求項 1 1 又は 1 2 に記載の眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 1 4】

式 (1) で表される化合物又はその塩をポリエチレングリコールに溶解させることによる、眼疾患を予防又は治療するための医薬組成物中の式 (1) で表される化合物又はその塩を安定化する方法。

【請求項 1 5】

式 (1) で表される化合物が、2 - [[[2 - [(ヒドロキシアセチル) アミノ] - 4 - ピリジニル] メチル] チオ] - N - [4 - (トリフルオロメトキシ) フェニル] - 3 - ピリジンカルボキサミドである、請求項 1 4 記載の方法。